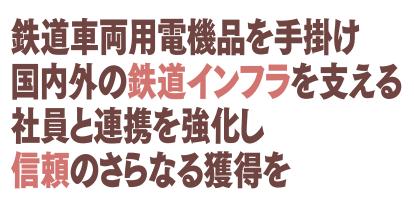
ひょうご中小企業技術・経営力評価制度





財務健全性を高めメンテナンス事業を創出

創業後間もなく、鉄道車両用電機品を製造する三菱電機株式会社伊丹製作所から依頼を受け直流モーターの製造を始めたのを皮切りに、現在は鉄道車両用モーターや電気的なノイズを防ぐためのフィルターリアクトルなどを主に製造しています。これら「電機事業部」に加え、鉄道車両用制御基板を構成するプリント基板製造、電子機器組み立てなどを行う「電子事業部」、工場における各種機械器具設置工事などを手掛ける「エンジニアリング事業部」の3事業を展開しています。

代表取締役社長の渡邉修司さんは3代目。資金繰りに奔走していた2代目の苦労を見て、大学卒業後は金融、財務の経験を積むべく金融機関で5年間勤めた後、アイケー電機に入社しました。負の遺産を整理し、財務の健

全性を高める一方、事業バランスをより安定させるため、新たに鉄道車両用モーターのメンテナンス事業に進出。主に地方の電鉄会社から受注を増やし、現在の取引会社は約10社にまで増えています。「当社の使命は市民の大切な足となっている交通インフラを支えること。特に地方では交通インフラの存続が地域の持続性にも関わるだけに、その支えになりたい」と思いを語ります。

一方で最重要顧客である三菱電機に対しては、電機品の小型化、高効率化といったニーズにしっかりと応え、信頼関係を強化してきました。近年では海外の鉄道車両向けの製品も納品しており、ニューヨーク市営地下鉄の車両に同社製造のリアクトルが使われています。また、「良いものづくりは人材から」との考えから、渡邉社長自ら、中

間管理職4、5人ずつで構成される5班のメンバーとミーティングの場を毎月間は、職場のためのためのためのためできた。アが必要では、カングの場を行っていません。カングの場を行っていません。カングの場合がある。

社員については定期的に面談するなど、社員とのコミュニケーションに時間と労力を割いてきました。そうした取り組みもあってか、ここ3年ほどで社員の子息が相次いで入社したとのこと。「社員が子どもを入れたい、子どもさんも入りたいと思ってもらえることはうれしい」と話します。

社員が未来を考える機会を提供

取り引き金融機関の尼崎信用金庫から「ひょうご中小企業技術・経営力評価制度」の案内を受けたのは2年ほど前のこと。「客観的に評価してもらうだけでなく、評価を通じて経営について新たな気付きが得られれば」との思いで活用することにしました。

真空タンクを使ってワニスという材料をリアクトルに塗布、乾燥させくまなく絶縁性を行き渡らせる工程など技術面への評価もさることながら、社員一人一人と向き合う姿勢について高い評価が得られたことに「自分がやってきたことは間違っていなかったと自信を深めることができました」と渡邉社長。一方で、社員とのミーティングの場がコミュニケーション向上一辺倒になっていることに気付かされました。そこで、入社2年目の節目や、子どもが生



十 内研修の様子

ひょうご中小企業技術・ 経営力評価制度

まれ人牛設計を考えるタイミングなど を捉え、今後のキャリアや進みたい方 向性を話し合う場を設けるべく、準備 を進めているそうです。

安全性、経済性、環境面などから 鉄道インフラの評価が高まっており、 世界的に鉄道車両の需要はますます 増えることが予想されています。「一般 い」と話しています。

市民の大切な足になる鉄道車両事 業に携わっている自負をさらに高め、 信頼されるものづくりを続けていきた

会社概要 アイケー電機株式会社 所在地 伊丹市東有岡3-204 代表取締役社長 渡邉修司 事業内容 電気機械器具の製造 TEL 072-782-1861 URL http://www.ikdenki.co.jp/

支援メニュー講座

ひょうご中小企業技術・経営力評価制度

あなたの会社の経営力・成長性を評価します

制度概要

中小企業の技術力・ノウハウや成長性、経営力等を評価し、担保に頼らない融資や経営改善を支援しま す。製造業だけでなく保証協会の保証対象業種等であればどのような業種でも評価します。

○評価手数料(企業負担額)

標準評価型:6万7,000円 オーダーメイド型:13万4,000円

くひょうご中小企業技術・経営力評価制度は「イノベーションネットアワード2012」の「地域産業支援プログラ ム優秀賞」や日本弁理士会の「知的財産活用賞」(平成26年度)を受賞した兵庫県オリジナルの制度です>

メリット

- ①専門家による客観的な評価により、自社の「強み、弱み」が分かります。
- ②新たな視点で事業改善のヒントが得られます。
- ③企業価値のPRや資金調達に活用できます。
- ④明らかになった課題に対し、ひょうご産業活性化センターほか各支援機関が支援策を提案します。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター成長支援課 111078-977-9077